

令和6年度 第3回伊勢原市食育推進会議 議事録

【開催日時】 令和7年3月13日（木） 13時30分～15時00分

【開催場所】 伊勢原市役所 2C・2D 会議室

【出席者】 食育推進連絡会議委員11名・事務局9名

【公開可否】 公開

【傍聴者数】 0人

【配付資料】

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 第4次伊勢原市食育推進計画食育目標指標の状況（速報値）資料
- ・ 資料2 伊勢原市版食事バランスガイド
- ・ 資料3 和食文化普及ちらし
- ・ 資料4 第4次伊勢原市食育推進計画 目標・基本施策別事業計画・事業評価シート一覧

3 議事

（会長）

それでは、次第に沿って進めたいと思います。事務局から、ご説明をお願いいたします。

（事務局）

議事（1）第4次伊勢原市食育推進計画 食育目標指標の状況（速報値）について説明させていただきます。

来年度の第4次食育推進計画中間評価に向けて、20歳以上の市民3000人に対し食育に関するアンケート調査を実施し、回収率は約51%と半数を超えた状況です。来年度さらに詳細をみていく形になりますが、速報値で単純集計ができましたので、第4次食育推進計画の目標指標と合わせてお伝えします。

資料1をご覧ください。R9年度目標値と参考にR3年度、そして緑色の枠に入っている値が今回のR6年度実数値となります。全部で16項目ありますが、3項目は学校に関する指標で、まだ学期が終わっていないため数値が未定となっております。

目標との比較ですが、達成したものが3個、目標には至らないが基準値より数値が改善したものが4個と、改善傾向のものが現段階では半数を超えました。

一方、悪化した項目が6個あり、今後クロス集計の結果が出ましたら、どの年代や性別、地域や職業などが悪化したのか等詳細を見ていく予定です。

次のページからは、目標値を100%に設定した際の、各項目の実績が目標からどの位離れているかを、グラフにしたものです。

★マークがついているのが、第4次伊勢原市食育推進計画において重点目標として位置づけられているものです。

ゆっくりよくかんで食べる意識がある人の割合は若干増加、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上ほぼ毎日食べている人の割合は悪化、健康のために「塩分の多いものを控える」を心が

けている人の割合は増加し目標を達成している状況です。また健康のために「あぶらっこいを控える」を心がけている人の割合は、ぎりぎりですが100%を超えている状況です。こちらの4つは全て重点目標です。

次のページのグラフですが、食育に関心がある20～30歳代の若い世代の割合は目標を超えて106%です。地域等で過去1年間に共食など、集う機会を持った人の割合はもう少しで目標達成となります。コロナ禍が明けて、共食される方が非常に増えてきたのではと思われます。栽培・収穫・農業体験をしたことがある人の割合は若干減っている状況です。食品ロス削減のために、何らかの行動をしている人の割合は目標には達していませんが少し増加している状況です。

最後のページにつきましては、目標値の設定が「以下」になっておりますので、目標値を0%にし解離の度合いをみていくグラフです。

重点目標の20～30歳代女性のやせ（BMI18.5未満）の人の割合が、令和9年度の目標値が11%以下に減らすことですが、増えたため悪化しているという見方です。重点目標の40～50歳代男性の肥満（BMI25以上）の人の割合は、目標値が35%以下でしたので、増加し悪化となっています。一方、重点目標の高齢者の低栄養傾向（BMI20以下）の人の割合はまだ目標に達していませんが、少し減ってきている状況です。20～30歳代の朝食欠食（週に1～2日又はほとんど食べない）する人の割合は、目標値からだいぶ離れてしまっている状況です。1日に1回も共食をしていない人の割合も少し目標値から離れています。

特に目標値から大きく離れているのが20～30歳代女性のやせの割合、また3年前と比較して悪化したのが20～30歳代の朝食欠食となっております。

ぜひ、今回の速報値の状況を御覧いただき、御意見をいただければと思います。

（会長）

ただ今、事務局より説明がありましたが、委員の皆さまより資料1の食育目標指標の状況について御意見をいただけますでしょうか。

（委員）

20～30歳代の朝食欠食で問15では、「ほとんど食べない」という人の割合が7.2%とありますが、年齢全体と比較した時に多いと思いましたが、20～30歳代としてクロス集計がされているのでしょうか。

（事務局）

はいそうです。大元のデータをみて出した形になります。

（委員）

もう一つは、20～30歳代女性のやせの割合が増えた要因として、アンケート回答時に正直に体重を記載しているのか不明ではと思いました。

（会長）

よく過大評価と過小評価といった問題もありますので、自己申告ですので少し信憑性に欠けるかもしれません。

（委員）

民生委員をしておりますが、主に一人暮らしの高齢者の方を対象に、健康づくり課作成の食生活チェックシートを記入してもらうため訪問しております。最近、米や野菜、果物の値段が上がって買えないというお話をいただきます。歳なので肉も食べられないし魚も買えないとおっしゃるので、たんぱく

質が足りないのではと思われる方も多いので、この数字が悪いほうに変わらなければいいなと思います。

(会長)

確かにそうですね。この問題は、一過性なら何とかありますが、3～4年と長引くと影響が出てくるのではないかと思います。歯科医師のお立場ではいかがでしょうか。

(委員)

課題はとても短期間で改善できるものではないと思います。

(会長)

おっしゃる通りですね。すぐに解決できるようなものばかりではないのですが、まずは意識を持つべきだと思います。

(委員)

食品ロス削減のために、何らかの行動をしている人の割合が3年前より微増はしていますが、多くのメディアや社会意識が高まっていることでもう少し増加が見られるのかなと思いました。食育とどう関わるのかと気になりました。

(事務局)

今回の目標値に達するには、ほど遠いと思っています。このあとに紹介します伊勢原市版食事バランスガイドの中でも初めて食品ロスに関しての情報を入れましたが、より目標値に近づけるように今後も食育の一環として普及啓発をしていく必要があると考えております。また担当も清掃リサイクル課等多岐に渡りますので、連携を取れたらと考えております。

(会長)

20～30歳代女性のやせの件ですが、保育園のお立場でいかがでしょうか。

(委員)

保護者の方でも若い世代がおり、細い方が増えていると感じています。街を歩いていても細身の若い方がいて、どうしたら栄養バランス等をとれるのかなど考えることがあります。

(会長)

国のデータによりますと、数年前の方がやせの割合は高いので、どちらかと言うと減少傾向ではあります。体重を増やしましょうと言って聞く耳を持つ20～30歳代はいないので、PR方法の工夫が必要です。中学校や高校の養護教諭の方や、産婦人科医と連携しながら進めている市もありますので、そういうことも今後考えていけると良いのかなと思います。

(委員)

20～30歳代女性のやせの問題についてですが、腹8分目が良いという考え方がある中で、このアンケート調査には、おなか一杯に食べているか等の内容の質問がないので、例えば20～30歳代女性は意外に沢山食べているけれど体重は低めに回答していたり、30～40歳男性の肥満の方は意外に腹8分目を意識していたりするなど、食べる量と年齢をクロス集計、分析すると、啓発方法が見えてくるのではないかと思います。

(会長)

食行動ですね。今回の市の調査では質問で聞いているのですが、国全体のデータでは事実として「体重」で見ているというものがあります。若い女性のやせの割合が国全体としては問題だということですので、あとはこれをどう改善していくかということで、食行動などと一緒にアンケートを取ってクロス集計をすれば、方向性が見えてくるのだらうと思いますので、是非御検討をいただければと思います。

ありがとうございました。

(会長)

次の報告・検討事項について事務局からお願いいたします。

(事務局)

議事(2)の報告・検討事項「食育普及リーフレット」としまして、伊勢原市版食事バランスガイドについて報告させていただきます。資料2をご覧ください。

昨年度からこの会議の中で委員の皆さまよりアイデアを頂き、伊勢原市の地産地消とバランスよく食事をとることを目的に、国の食事バランスガイドが伊勢原でも有名なコマの形ということからアレンジし、伊勢原市版の食事バランスガイドのパンフレットが完成しました。こちらにつきましては、JA 湘南様と県立保健福祉大学の栄養士学生の皆さま、伊勢原市食生活改善推進団体様、農業振興課、清掃リサイクル課の協力をいただき作成しました。ありがとうございました。

市のホームページに掲載し、ダウンロードができるようになっております。さらに、農林水産省のホームページに全国の地域版の食事バランスガイドを取りまとめるページがあり、そちらにも掲載していただきました。

配布については、以前から御意見でいただいていたように、幼稚園・保育園から中学校くらいまでの保護者を中心に配布できればと考えておりまして、加えて市民配布としまして、畜産まつりや高齢者の通いの場、食生活改善推進団体の皆さまの活動の場などでの普及を想定しております。

ぜひ、今後の活用や配布について、御意見をいただければと思います。

(会長)

ただ今事務局より説明がありましたが、委員の皆さまより「伊勢原市版食事バランスガイド」について御意見をいただけますでしょうか。

(委員)

意識調査結果の問32、「食品ロスを減らすために何か取り組んでいることはありますか」という設問で、「食品ロス問題は知っているが取り組んでいることは特にない」という人が1527名のうち853名いらっしゃいます。これは取組がどういうものかを具体的に分からないからこういう答えになった方もいると考えられるので、今後は食品ロスにはどんなものがあるのかを普及していくことが大切かと思いました。今、食品の価格が高くなり大切に消費するということも出てくるでしょうし、そういうことがつながれば良いのかなと思いました。畜産まつり等で配布するとおっしゃっていましたので、JAとして協力できることがあればその都度相談していただければと思います。

(会長)

その通りだと思います。ご家庭で活用されることについていかがでしょうか。

(委員)

家庭でということはありませんが、私は様々な場でこういったものを見る機会があつて、レシピ等もメールで届いたりするので、分かりやすいし作ってみようと思います。また、自分の生活の中で当てはまるものは何かと見ていくのですが、目で情報が入ってくるとやってみようという気になるしパンフレットは、やはり必要ではないかなと思います。カラフルで良いと思います。

(会長)

ありがとうございます。ネットでの情報が今盛んですが、パンフレットのようなアナログ的なものは意識が低い方でも、探さなくても目につく点が良いかと思います。配布や活用についてはいかがですか。

(委員)

例えば米や食パン、うどんの値段も上がっており、地産地消として食べるのが良いとは思いますが、こだわらずこれに代わる栄養のあるものの商品化はないかなと思っていました。

(会長)

食材の値段が上がり、食費の負担が大きくなっています。様々な方を対象とした健康教室等がありますが、理想的な栄養バランスの話などに加え、その中で例えばワンコインで食べられるような料理や、冷凍食品や缶詰を利用し、食品ロス削減や食費を意識したような教室などの工夫も良いのではと思いましたので検討していただけたらと思います。

(委員)

たまたま市役所のロビーにあった冷凍保存のコツという小冊子ですが、高齢者が野菜を買っても使い切れないことがあるのでこういう技術を知っておけば無駄にせず好きな時に使えるので、担当地区に配りながらお話をしようと思っています。

(会長)

必ずしも安いかというとそうではない時がありますが、冷凍食品だと無駄がないですね。生野菜は食品ロスにつながる場合もあるので、うまく活用していくことが重要だと思います。

このように地域で独自の食事バランスガイドを使っていくという市町村はあまりないですね。市の方々が非常に力を入れていることですので、上手に使っていただければと思います。

(委員)

食事バランスガイドを開いた2ページ目に旬カレンダーがありますが、気候変動などで野菜等がその時期にできていないこともありますね。

(委員)

例えば今年の夏は酷暑で、農作物がなかなか育たなかったことがありましたので、カレンダーはあくまで目安として捉えていただければと思います。

(会長)

では次の報告・検討事項について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、同じく議事(2)の報告としまして、資料3「和食文化普及ちらし」について説明させていただきます。

市総合事業の中の重点事業として、本年度までの取組として、和食文化継承のための食育活動があげられており、昨年度はこの会議の中で話題にあがっておりましたお箸の文化をテーマに、小学校教員・栄養教諭向けの研修会や食生活改善推進員向け研修会を開催し、また日本型食生活について、リーフレットを県立高校2校生徒全員に配布いたしました。

本年度も、皆さまからの御意見などをもとに、資料3の「和食文化普及ちらし」を作成しましたので報告させていただきます。既に、伊勢原市食生活改善推進団体の皆さまにお願いし、500部を公民館まつりなどで配布していただいております。今後、若い世代に配布ということで、市内にあります産業能率大学にて置いていただく予定です。

また、JA 湘南様にも女性部の皆さまに配布していただけるということで、こちらの資料で、和食文化を地域で普及していただければと思います。

重点事業としては今年度までですが、今後の和食文化普及などについて、御意見をいただければと思います。

(会長)

ただ今事務局より説明がありましたが、委員の皆さまよりこの取組や和食文化普及に関する取組に等について御意見をいただけますでしょうか。

(委員)

1 月 24 日が和食の日として制定されていますので、学校でその時期に合わせて和食をテーマに、いつも以上に和食を意識してもらうような指導を行っております。昨年度の研修会で学んだお箸の持ち方等も、その時に合わせて子どもたちへ指導しました。すべての学校ではないのですが私のいる学校では、1 月の給食週間で豆をお箸でつまんで隣の皿に移すというような、ゲーム感覚でお箸の持ち方・使い方をやってもらったことがありました。他の学校でもお箸の取組等をしていると思いますので、小学生の頃からお箸や和食のことを指導していく中で、大人になっても和食を意識してもらえたと思います。

(委員)

このチラシは2月の公民館まつりから各地区で配布させていただいております。お客様は世代が様々ですので、若い方やお子さまなど、幅広く配布しております。まだ残部もありますので、4 月以降講習会でも配布したいと思います。裏面の私たちが作成した「おもてなし料理」も、近年あまり正月料理を手作りする方がいっしょに思われる中で、あえて伊達巻きや豆腐を使ったメニューを載せさせていただいております。簡単にできるのでぜひ皆さまにも作っていただけたらと思います。

(会長)

和食は大切な文化ですね。伊勢原市に限ったことではないのですが、日本人が大切にしていかなければならないとても重要なことだと思いますのでぜひ、地域で和食文化が進みますように今後ともよろしく願います。

では次の報告・検討事項について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは議事(3) 報告事項として、庁内の食育関連各課より、令和6年度実施した食育についての評価と令和7年度計画について、御報告させていただければと思います。参考に資料4が事業の一覧表になります。

(健康づくり課)

先ほどグラフ等御覧頂いたように、意識調査を実施しました。来年度が結果の中間報告の年になりますので、この会議でも御意見をいただきながら引き続き評価していく予定です。だいたい課題が明らかになってきているなという感じがします。これまでも取り組んできたのですが、働き盛りの肥満についても、今年度アプリを活用しながら実施をしましたが、無関心層に響くような取組が重要だと考えております。意識調査を分析し、ターゲットを絞って効果的な取組ができればと考えております。一方で、高齢者につきましては地道に訪問や電話相談等の活動を続けておりまして、今回悪化をしていなかったということもありますので、引き続き活動をして参りたいと思います。また、新たな問題として食品ロスについて、本日御意見を頂きましたので、取り組んでいきたいと思います。

(子育て支援課)

本課では、妊娠・出産・その後の育児など産前産後を含めた機会を捉えて、食生活に関する普及啓発の事業を展開しております。このような時期の皆さんは関心も高く耳を傾けていただける一方で、本日議論されていた意識調査での若い女性のやせの問題はやはりあります。妊婦中や産後のお母さんから、赤ちゃんが太ってしまうのではないかという言葉が発せられることもあります。産科医療機関との連携も必要ですし、本日の会議で中高生の時期の話も参考になりましたので、それぞれの時期の生活に合わせた普及啓発を意識しながら、欠食ややせの問題等に取り組む必要があるかと思います。また、食品コストも上がっている中で、ベビーフードの活用や、親御さんが食べているお食事の経済的な部分の課題もありますので、食品ロス削減も含めて我々の事業の中身の見直しも必要かと思いますので、大変参考になりました。

また、外国籍の方、特にベトナム人の方が最近増えており、和食文化の「だし」について御説明してもなかなかなじみがなかったり、試食を遠慮されたりということもあるので、事業の内容を工夫する必要があります。

(子ども育成課)

家庭ではマナーや行事等の文化について触れることが薄れてきていることもあるかと思いますが、園では給食やお弁当を通して、そのようなことに触れる機会や、食事を楽しんだり教わることもできる場所と考えています。令和6年および7年度に食育計画に沿ったアンケートを各施設にお願いし、園の状況を確認しておりますので、評価に反映したいと思います。今後とも協力いただければと思います。

(学校教育課)

小学校・中学校では、給食時間が食育の場所となります。給食では郷土料理を出すこともあり、小学校ではだしを取った給食を提供し、和食文化についても伝えていきます。また、5・6年生は家庭科でだしの学習をします。先日お味噌汁のだしを通常使用しているものと別のものを使用した際、6年生が、今日はだしが違うと分かりました。給食調理員さんが忙しい中でもだしを頑張って取ってくれた成果が出て、すごく良かったと感じております。このように給食や教科の中で実践的に食育を行うことで、子ども達が食べる力を身につけてくれたらと思います。地場産のお話がありましたが、学校給食では農協から地場産物を入れていただけていますが、気候の影響で、去年はキャベツが入らないということがありました。なるべく地場産を使いたいので今年は時期を考えて取り入れるようにし、子どもたちに伊勢原で取れるものを知ってもらい、伊勢原の味を覚えて欲しいと思っています。これからも給食を通して伊勢原の子どもたちに食育を根づかせていけると良いと感じています。

(教育指導課)

学校における食育の支援をしております。今思うと令和5年度はまだコロナの影響がありまして食育活動にも影響がありました。例えば給食は、グループではなく前を向いて黙って食べるような対応で調理実習もできず、実施したとしても自分の分だけ作っていました。また、総合的な学習で芋を収穫しても調理はせず持ち帰るようにしました。令和6年度は食育に関しての取組ができたと感じております。来年度に向けてですが、例年各学校で食に関する指導の年間計画を立てて共通認識を持って取り組んでいましたが、市の計画のように数値目標が入っていると振り返った時や新たな取組をした時に非常に評価が分かりやすいので、各学校の年間計画の中で指標を明確にしていこうと各学校と進めているところです。このような形で食育をさらに推進できたらと思っています。

(介護高齢課)

高齢化が進む中、単身や高齢者世帯が増え、また車の免許返納をして買い物が大変という方やスーパーが撤退というようなこともある状況です。伊勢原市の平均寿命は、女性では88歳、男性82歳と年々上がって、かなり元気な方もおられますが年齢が上がるとともに体力が衰えていますので、食事づくりに負担があり、座ってやる方もいらっしゃいますので、適宜配食サービスの利用等を紹介しているところです。また高齢者の口腔のケアに関して、入れ歯の手入れが難しいということもあり、普及啓発していかうかと考えております。今回の食育事業では、生き生き教室として週1回3ヶ月、毎回の運動に加え、栄養指導を入れながら実施しております。受講された方は栄養評価が高くなりますが、終了するとまた下がってしまうということがありますので、今後は終了後の支援も含めて地域の民生委員の皆さんと協力しながら進めていければと思っています。市の高齢化率は27%で市内では2万7000人の65歳以上の高齢者がおりますので、皆さまに御協力いただき、支援していければと思います。

(農業振興課)

本日は御意見いただきましてありがとうございます。事業の一つは農業体験事業で、日向地区で谷戸田オーナー制度を行い、20組程度の募集があります。また、みかんの木のオーナー制度も2か所で行っていますが、毎年農業者の高齢化や罹病で本数が減っている状況で、今年度は新規の募集が5本程度となりました。令和7年度も引き続き農業体験ができるような取組をしていきたいと思っています。農業に関するイベントにつきましては畜産まつりを毎年11月に行っておりまして、令和6年度は参加者が9000人で昨年より1000人程多かった状況で盛況でしたので、令和7年度も引き続き行ってまいります。市民農園につきましては西富岡にあります八幡谷戸ふれあいガーデンがあり、利用率は6割程度となっております。今年度市民見学会を行い、若干契約が増えている状況です。利用率6割のうち6割は市外の方です。農畜産物を用いたメニューの紹介につきましては、健康づくり課が中心となってホームページで紹介していただいておりますので、今後も連携しながら取り組んでいきたいと思っています。本日の会議でも農産物が高いという意見がありますが、確かに昨年の1月は5kgの米が安いもので1600円でしたが、今は5000円で売っている状況です。農産物の値段が上がっているのは、人件費や燃料代、資材の農薬費や肥料代等の経費が上がっていることに加え、気候変動によって需要と供給のバランスが左右されることが関係しております。農業に関しては収入から経費を除いたのが利益となりますが、最低賃金を下回ることが多いので、そういったことも加味していただければと思います。

(会長)

ありがとうございます。引き続き、各食育関連各課におかれましては、食育の活動をお願いします。

本日の食育推進会議は、今年度最後の回になります。委員の皆さまより1年間参加していただき、ご感想などお伺いできればと思います。

(委員)

こういった会議で委員になれたおかげで、勉強になりました。このような仕事ができただけに感謝したいと思います、ありがとうございました。

(委員)

同じく会議に出させていただいたことで食育に関して勉強になりました。「こまごわやさしいにたにた」は12文字ありますので、各月のお誕生日会で一つずつ子どもたちに教えました。子どもたちも「こまごわやさしいにたにた、食べているよ」という声が聞こえたので良かったなと思っています。

(委員)

食事バランスガイドの食品ロスのところ、食料自給率を入れてくださりありがとうございました。

現在38%で下がっているのが非常に心配だということと、先ほど農業振興課から農業が厳しいというお話でしたが、本当に産業の大転換を考えていかなければ大変なことになるのではと思っております。

(委員)

今年度初めて参加させていただきましたが、25年以上平塚市で学校給食の栄養士をしていました。現場の栄養士はこういった会議の資料を見る機会はあっても、このように参加してそれぞれの立場の方とお話ができる会議があるのに驚き、私に何かできることがあれば1年過ごしてきました。先ほど女性のやせのお話がありましたが、できるだけ子どものうちに、食が大切だということを身につけて、大人になって欲しいなとより強く感じました。ありがとうございました。

(委員)

今年で5年間、参加させていただいてようやく食育が理解でき、他業種の方のお話が聞けて大変勉強になりました。

(委員)

今年初めて参加させてもらい、普段目にしないデータや、市内での動きを知ることができました。伊勢原小学校と中沢中学校で学校の運営協議会委員をしまして、学校や地域の運営等について話し合うのですが、そのような時に今回の農業体験事業について参考になりましたので、必要があれば専門の方をお呼びしてお話しをお願いするなど横の連携も取れたらいいなと思いました。また食品ロス啓発活動についてですが、私はフードバンクで賞味期限が近くなったものをいただいて、それを必要な方にお配りする活動をしているのですが、社会福祉協議会とも連携して啓発活動をうまくできたら良いと思いました。

(委員)

最初の食育のイメージと、3回会議に出席させていただいた後ではイメージが変わりました。生まれも育ちも伊勢原で昔から市の事業を身近に感じてきましたが、生活全部が食育に結びついているのだなと思い、各課の皆さまも頑張っていることを改めて感じました。

(委員)

私はこの会議に数年前から参加させていただいておりますが、何の知識もなく、会議で意見を求められ発言した後は反省点もありました。皆さんの御意見を拝聴してとてもためになり、意欲も沸くのですが、実際活動で普及できるかというところでは出来なかったことなどもありました。これからも市と連携して、市民の皆さまの健康づくり及び食育につなげていけたらと思っております。

(委員)

私は50年間毎日3食ほとんど食事づくりをしてきました。私の近所も耕作放棄地がたくさんありますので、国で負担し農業従事者を増やしていただくと、食料自給率も上がるし地場産の野菜が口に入ると思っております。

(委員)

私は令和4年度から3年目です。毎回御意見を皆さん発言されて作り上げていくものということで、今回資料2のバランスガイドが出来上がったわけですが、市役所各課で連携を取りながら進めているのだなと改めて分かりましたので、当然農協でも農業振興課と連携を取り農業の発展に努めていかなければならないと思います。農産物が高いと言われていますが決して高いのではないということを知っていただけたらと思いますし、地元の農家を応援するという意味でなるべく地場の野菜を買っていただけたらと思います。

(会長)

ありがとうございました。委員の皆さまにおかれましても、伊勢原市の食育について引き続きの御協力をよろしくお願いいたします。

食育の今後に向けて課題は色々あるのですが、中間評価でデータを出していただいている、良いところを今後伸ばしていくことに加え、今回目立った20～30歳代の問題については、まず意識や知識を変えていただくためには教育部門と子育て支援部門との連携は欠かせないと思います。20～30歳代のやせている若い女性は高齢者になってもやせている可能性が高いです。この低栄養の若い女性から生まれてくるお子さんは低体重児が多く、低体重児は中年以降生活習慣病になるリスクが高い、というのが定説です。こういった新しい知識をきちんとした状態でお伝えすることが非常に大事だと思います。まずはそういう知識を理解できる年代になったら知っておいていただくということも重要な食育だろうと思います。先ほどの農業の問題もそうですが、理屈だけではいけない問題もあり、国民が相当意識しないといけない問題だと感じます。世界情勢から考えた時に、例えば卵は安価でいつでも供給できると思っていますが、鶏の飼料は海外から輸入しているため、そこで飼料が止まってしまうと卵の自給率も下がっていくわけです。まずは個人に何ができるかという、このような課題があることを皆で共有することが重要で、それが農業体験等につながり数字だけでなく中身が充実していくことになるのではと、個人としては考えておりますので、ぜひ期待をしているところでございます。

では、本日の議事はこれですべて終了いたしました。進行に御協力いただきましてありがとうございました。

4 その他

(事務局)

来年度の予定ですが、今年度同様、年3回の会議を予定しております。第1回を7月頃、第2回を11月頃、第3回は2月頃を予定しており、2年間の任期のまとめとさせていただきたいと思います。

今年度は、委員の皆さまに様々な御意見をいただきまして、勉強になったとの言葉をいただきまして感謝申し上げます。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

なお、委員の任期は2年間のため、来年度も引き続きお願いすることとなりますが、所属団体の改選等により変更がある方の場合、後任の方に残任期間の1年間をお願いすることとなります。新年度に入りましたら改めて確認の御連絡をさせていただきたくします。

また、本日の議事概要を事務局で作成いたします。皆さまにも内容の御確認をお願いしたいと思いますので、後日お送りいたします。

以上で本日予定しておりました案件は全て終了させていただきます。

では最後に、健康づくり担当部長の高橋から挨拶を申し上げます。

(健康づくり担当部長)

健康の3大要素といえば、栄養、運動、休養と言われていますが、自分でもしっかり意識を変えていかなければと思いながら勉強させていただいておりました。市民が食育に関心を持つために、委員の皆さまから御意見をいただき感謝を申し上げたいと思います。また食事バランスガイドの作成や和食文化の普及リーフレットの配布も御協力いただきありがとうございました。

この会議ですが、第4次伊勢原市食育推進計画の進行管理を担っていただいております。本市の食育

推進のために色々な取組をしていく中で、皆さまのお立場で御意見をいただいているところですが、さらに市の食育が進められたと思っております。本当にありがとうございました。さらに来年は第4次伊勢原市食育推進計画の中間評価の年になりますので、引き続き活発な意見交換をお願いします。より充実した食育の推進に取り組んで参りたいと思いますので、どうぞ御協力をお願いしたいと思います。今後とも本市の食育の推進に向けまして御理解・御協力を賜りますようお願いいたします。

5 閉会

(副会長)

第3回伊勢原市食育推進会議を終了とさせていただきます。